

NY マーケットレポート (2017 年 4 月 18 日)

NY 市場では、序盤に発表された米経済指標がさえない結果となったことを受けて、ドルは上値の重い動きとなった。また、欧米の株価下落や、米債券利回りの低下も加わり、ドル円・クロス円は上値の重い動きが続いた。

ただ、メイ英首相が、2020 年 5 月に予定されていた総選挙を 6 月 8 日に前倒して実施するとの方針を表明したことを受けて、英国の EU 離脱交渉を控えて総選挙はメイ首相にとって基盤強化になると受け止められ、欧州の取引時間帯からポンドは主要通貨に対して大きく上昇した。特に、対ドルでは、2016 年 10 月 3 日以来の高値を付け、対円でも 3 月 31 日以来の高値を付ける動きとなった。一方、フランス大統領選の世論調査で、前経済相のマクロン氏の支持率が上昇したことも影響し、ユーロは、ドルや円に対して堅調な動きとなった。

2017 年 4 月 18 日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	108.87	109.22	108.82
EUR/JPY	115.94	116.22	115.89
GBP/JPY	137.12	137.34	136.82
AUD/JPY	82.10	82.95	82.06
EUR/USD	1.0650	1.0656	1.0637

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.00	108.67
EUR/JPY	116.29	115.76
GBP/JPY	138.10	136.15
AUD/JPY	82.24	81.92
EUR/USD	1.0685	1.0646

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	108.47	108.95	108.33
EUR/JPY	116.42	116.49	115.99
GBP/JPY	139.32	139.97	137.75
AUD/JPY	81.99	82.22	81.85
NZD/JPY	76.36	76.59	76.20
EUR/USD	1.0733	1.0736	1.0677
AUD/USD	0.7559	0.7560	0.7535

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20523.28	-113.64
S&P500	2342.19	-6.82
NASDAQ	5849.47	-7.31
日経225 (CME)	18330	-145
トロント総合	15622.57	-62.32
ボルサ指数	48762.53	-249.03
ボベスパ指数	64158.84	-176.09

4/19 経済指標スケジュール

09:30 【オーストラリア】3月ウエストバック先行指数
 10:30 【オーストラリア】3月新車販売台数
 15:00 【欧州】3月新車登録台数[EU-27]
 17:00 【南アフリカ】3月消費者物価指数
 18:00 【欧州】3月消費者物価指数
 18:00 【欧州】2月貿易収支
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 21:00 【ポーランド】3月雇用
 21:00 【ポーランド】3月平均総賃金
 03:00 【米国】米地区連銀経済報告[ベージュブック]

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.10	+2.20
NY 原油	52.41	-0.24
CME コーン	368.25	-5.00
CBOT 大豆	956.25	-7.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.164%	1.201%
3年債	1.355%	1.406%
5年債	1.706%	1.776%
7年債	1.985%	2.059%
10年債	2.175%	2.250%
30年債	2.845%	2.909%

ドイツ10年債	0.156%	0.187%
英国 10年債	1.014%	1.043%

4/19 主要会議・講演・その他予定

・ボストン連銀総裁 講演

NY 市場レポート

19:10

メイ英首相はロンドンで、議会を解散し 6 月 8 日に総選挙を実施する計画を発表

英国のメイ首相は、官邸前で緊急声明を出し、2020 年 5 月に予定されていた 下院（定数 650）総選挙を早め、6 月 8 日に実施する意向を表明した。英国では、総選挙の日程変更には下院の 3 分の 2 の承認が必要だが、最大野党・労働党のコービン党首は「メイ首相の決定を歓迎する」と述べており、実施は確実な見通し。最新の世論調査では、保守党の支持率 44%、労働党は 23%。



21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

3 月米住宅着工件数 121.5 万件（予想 125.0 万件・前回 130.3 万件）
前回発表の 128.8 万件から 130.3 万件に修正

3 月米住宅着工件数（前月比） -6.8%（予想 -3.0%・前回 5.0%）
前回発表の 3.0%から 5.0%に修正

3 月米建設許可件数 126.0 万件（予想 125.0 万件・前回 121.6 万件）
前回発表の 121.3 万件から 121.6 万件に修正

3 月米建設許可件数（前月比） 3.6%（予想 2.8%・前回 -6.0%）
前回発表の-6.2%から-6.0%に修正



経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

3月・2月・1月・12月・11月・10月
 住宅着工件数・121.5・130.3・124.1・127.5・114.9・132.0
 一戸建て住宅・82.1・87.5・81.3・80.9・82.6・86.8
 集合住宅・39.4・42.8・42.8・46.6・32.3・45.2

許可件数・126.0・121.6・129.3・122.8・121.2・126.0
 一戸建て住宅・82.3・83.2・80.7・83.0・78.0・77.4
 集合住宅・43.7・38.4・48.6・39.8・43.2・48.6

前月比 (%)

住宅着工・-6.8・5.0・-2.7・11.0・-13.0・25.5
 住宅建設許可・3.6・-6.0・5.3・1.3・-3.8・2.9

<< 経済指標のポイント >>

3月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-6.8%の121.5万件と、市場予想の125万件を下回り、2ヵ月ぶりに減少した。前年同月比では+9.2%だった。一戸建て、集合住宅ともに前月比でマイナスとなったことが影響した。

①一戸建て住宅は前月比-6.2%の82.1万件と3ヵ月ぶりの減少、それ以外の集合住宅は39.4万件と-7.9%だった。

②地域別では、北東部が+12.9%、中西部は-16.2%、西部は-16.0%、南部は-2.9%だった。

③着工件数の指標となる建設許可件数は、前月比+3.6%の126.0万件と、市場予想の125.0万件を上回り、2ヵ月ぶりのプラスとなった。前年同月比では+17.0%だった。

22:00

IMF 世界経済見通し

- ・「2017年の世界成長率予想を3.5%に上方修正（1月時点は3.4%）」
- ・「2017年の米成長率予想を2.3%、2018年は2.5%に据え置き」
- ・「2017年の日本の成長率予想を1.2%に上方修正（1月時点0.8%）」
- ・「2017年のユーロ圏成長率予想1.7%に上方修正（1月時点1.6%）」
- ・「2017年の中国成長率予想を6.6%に上方修正（1月時点は6.5%）」

22:06

<< 経済指標の結果 >>

3月カナダ中古住宅販売件数（前月比） 1.1%（前回 5.2%）



出所：Bloomberg

22:10

<< 要人発言 >>

ジョージ・カンザスシティ連銀総裁～講演

- ・「年内のバランスシート縮小開始を支持」
- ・「バランスシート縮小は、漸進的で円滑に実施する」
- ・「FOMCはドルを目標にはしていない」
- ・「財政政策は米経済見通しの上振れリスクになり得る」

22 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米鉱工業生産（前月比） 0.5%（予想 0.5%・前回 0.1%）
 前回発表の 0.0%から 0.1%に修正

3月米設備稼働率 76.1%（予想 76.1%・前回 75.7%）
 前回発表の 75.4%から 75.7%に修正



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

指標結果データ

《米鉱工業生産・設備稼働率》

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
鉱工業生産	0.5	0.1	-0.3	0.8	-0.2	0.2
製造業	-0.4	0.3	0.4	0.2	0.2	0.2
鉱業	0.1	2.9	1.3	-0.5	0.0	2.0
最終財	0.8	-0.4	-0.7	1.3	-0.6	0.0
原材料	0.4	0.4	0.0	0.5	0.0	0.4
設備稼働率	76.1	75.7	75.7	76.0	75.5	75.7
製造業	75.3	75.6	75.4	75.2	75.1	75.0
鉱業	81.9	82.0	79.8	79.0	79.4	79.4

3月の米鉱工業生産指数は、市場予想と一致の前月比+0.5%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。生産指数は製造業が-0.4%、暖房需要が伸びたことで、電力・ガスは+8.6%と大幅に上昇し3ヵ月ぶりのプラス、鉱業は+0.1%、自動車・同部品は-3.0%だった。3月の設備稼働率は、前月比0.4ポイント上昇の76.1%と市場予想の76.2%に届かなかった。

23:10

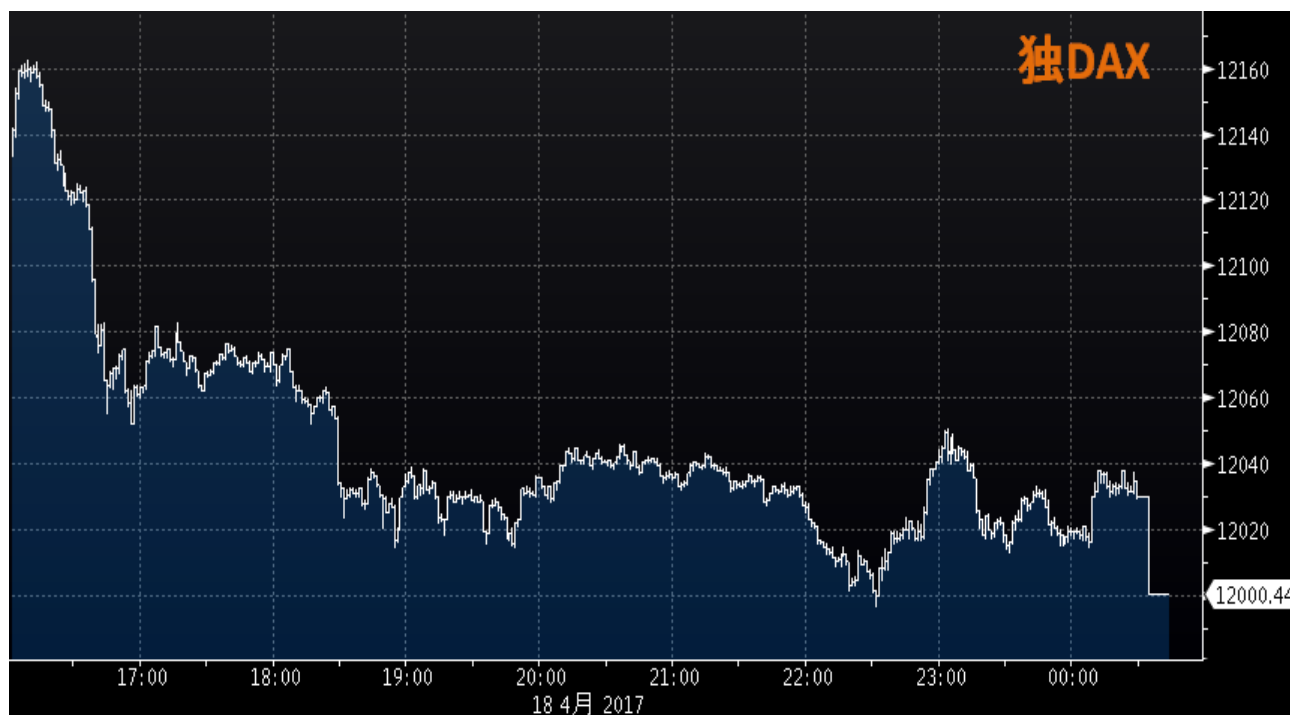
《要人発言》

ジョージ・カンザスシティ連銀総裁～インタビュー

- ・「年内の利上げ回数は経済次第」
- ・「FOMC、バランスシート縮小の開始時期は未決定」

《欧州株式市場》

欧州株式市場は大幅続落となった。メイ英首相の総選挙前倒し表明に伴うポンド高が嫌気されたことや、フランス大統領選の先行き不透明感も圧迫要因となった。



出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 2.20 ドル高の 1 オンス=1294.10 ドルで取引を終了した。

NY 金は、最近の相場上昇の反動で利益確定売りが先行したが、その後はドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが優勢となった。また、北朝鮮情勢の緊迫化なども下支え要因となった。終値ベースでは、昨年 11 月上旬以来、約 5 カ月半ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日 0.24 ドル安の 1 バレル=52.41 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、EIA が米シェールオイルの 5 月の生産量が増加するとの見通しを示したことに加え、サウジアラビアのエネルギー産業鉱物資源相が、OPEC による原油減産の延長を決めるのは時期尚早と述べたとの報道を受けて、軟調な動きとなった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、欧州の主要株の下落を受けて序盤から軟調な展開で始まった。そして、北朝鮮などの情勢悪化に対する警戒感も根強いことや、決算の内容が市場予想を下回った大手金融などの株価急落を背景に軟調な動きが続いた。

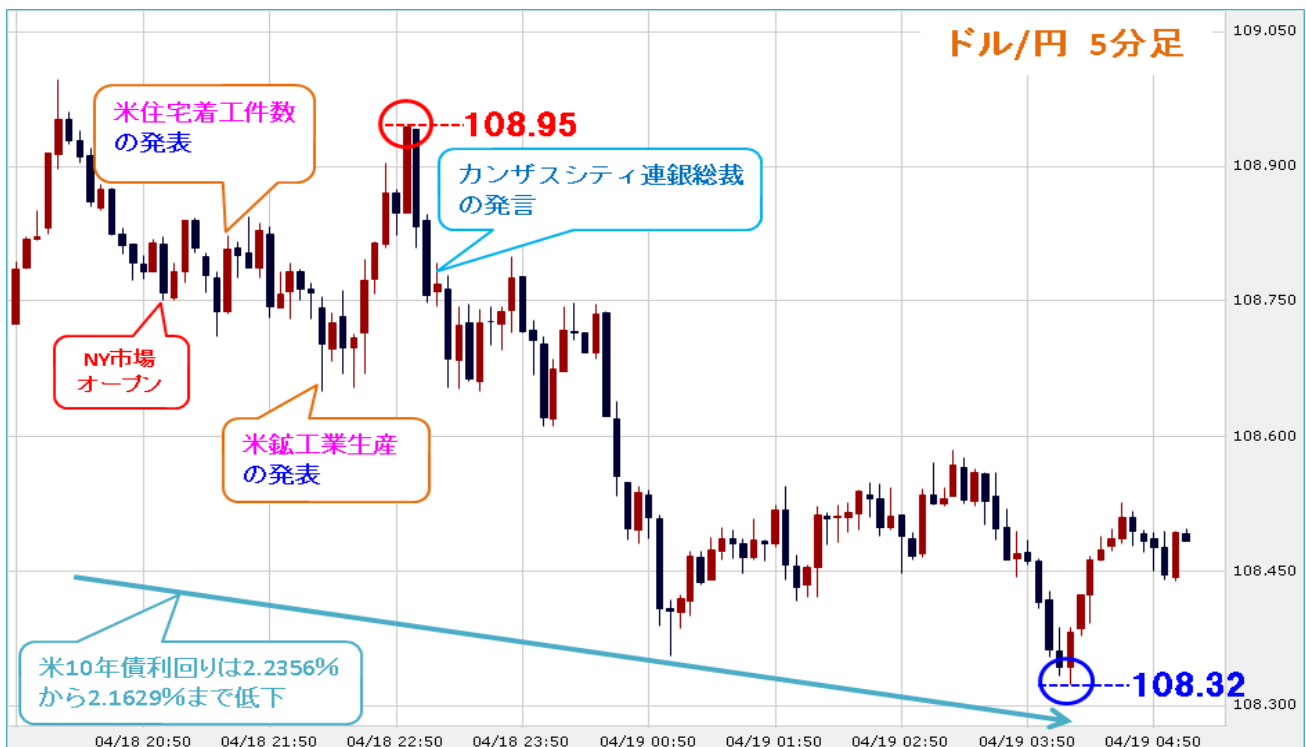
ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きが続き、一時前日比 174 ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小する動きとなった。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米経済指標がさえない結果となったことや、株価が下落したことを受けて、ドルは軟調な動きとなった。一方、メイ英首相が総選挙を実施する方針を表明したことを受けて、ポンドは主要 10 通貨全てに対して上昇となり、これに連れて、ユーロもドルや円に対して堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。